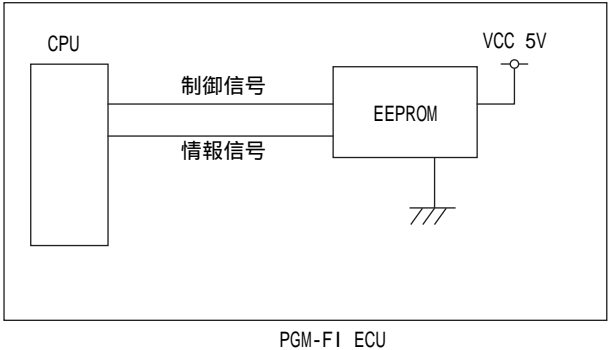


# DTC 解説

## DTC P062F: PGM-FI ECU EEPROM 故障 (CVT システム )

### 検知原理解説



01\_P0603G\_TM8A00

PGM-FI ECU には EEPROM が内蔵されている。  
パワートレイン制御上保護する必要のある情報（制御学習値等）や車両に関する情報（フレーム ナンバ等）については、バッテリー取外し時などで PGM-FI ECU に電源が供給されない状態でも情報を保持できる様に、EEPROM に保存する。PGM-FI ECU への電源非供給状態から復帰すると、CPU は EEPROM から保持されていた情報を读出すが、データ读出し処理が正常に終了しなかった場合、PGM-FI ECU は EEPROM の故障と判定し、DTC をストアする。また、CPU は保持データそれぞれの要求タイミングで CPU から EEPROM ヘデータの書き込みを行う（制御関連情報はイグニッション スイッチ ON(II) 時、車両情報は診断機からのコマンド要求時）。データ書き込み処理が正常に終了しなかった場合、PGM-FI ECU は EEPROM の故障と判定し、DTC をストアする。

### 検知頻度・検知順序・検知所要時間・検知手法種別・ OBD ステータス

検知頻度	常時
( 当該 DTC の ) 検知順序	なし
検知所要時間	1 秒間以上
検知手法種別	1D/C( 単一検知手法 )、PGM-FI 警告灯：消灯、D 表示灯：点滅
OBD ステータス	正常判定、故障判定、未完了

D/C: Drive Cycle( ドライブ サイクル )

### 検知実行条件

条件項目	下限	上限
バッテリー電圧 [ バッテリー電圧 ]	11V	
イグニッション スイッチ	ON(II)	
当該 DTC の検知禁止要求を行う DTC	P16C0	

[ ]: HDS パラメータ

### 故障判定基準

EEPROM のデータ書き込み / 読み込み処理毎に故障検知を行い、1 回でも正常処理しなかった場合。

### 推定故障部位

PGM-FI ECU 内部回路の故障

# DTC 解説

---

## DTC のストアとクリア

### DTC のストア

車両が故障と判定した場合、PGM-FI 警告灯が点灯することなく、D 表示灯が点滅し、PGM-FI ECU メモリにテンポラリ DTC、DTC およびフリーズ データがストアされる。

### DTC のクリア

スキャン ツール (HDS を含む ) のクリア コマンドの使用、もしくはバッテリー端子の取外しにより D 表示灯、テンポラリ DTC、DTC およびフリーズ データがクリアされる。